【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【公開番号】特開2005-312698(P2005-312698A)
【公開日】平成17年11月10日(2005.11.10)
【年通号数】公開・登録公報2005-044
【出願番号】特願2004-134696(P2004-134696)
【国際特許分類】
　Ａ６１Ｂ　5/055　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｂ　5/05　３９０

【手続補正書】
【提出日】平成19年4月17日(2007.4.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　三次元位置検出器によって検出可能なポインタを有する術具の位置情報を前記三次元位置検出器から入力し、前記ポインタを有する術具により指定された部位を含む断面を撮像する撮像制御部を備えた核磁気共鳴撮像装置において、
　前記撮像制御部は、核磁気共鳴撮像装置によって検出可能なＭＲマーカーを少なくとも３点に備えた被撮像体の三次元MR画像と、前記被撮像体の撮像位置において、３点のMRマーカーの各々に対し所定位置に固定された前記ポインタ付き術具の前記三次元位置検出器による検出位置とをもとに、前記核磁気共鳴撮像装置の装置座標と前記三次元位置検出器の座標の座標変換データを自動作成するレジストレーション手段を備え、前記座標変換データに基づいて前記術具の位置情報から前記断面を決定することを特徴とする核磁気共鳴撮像装置。
【請求項２】
　請求項１記載の核磁気共鳴撮像装置であって、
　前記ポインタは、核磁気共鳴撮像装置によって検出可能なＭＲマーカーを内蔵し、前記レジストレーション手段は、前記ポインタ付き術具を所定位置に固定した前記被撮像体のMR画像をもとに前記ポインタ付き術具の種類及び前記MRマーカーとの位置関係を検出することを特徴とする核磁気共鳴撮像装置。
【請求項３】
　請求項１又は２に記載の核磁気共鳴撮像装置であって、
　前記被撮像体は、３以上の異なる位置にMRマーカーが配置された穴を有するファントムであって、前記三次元MR画像は、前記穴の位置情報を含むファントム画像であり、
　前記レジストレーション手段は、前記３以上の穴に順次挿入されたポインタ付き術具を前記三次元位置検出器で検出した３以上の検出位置を用いて、前記座標変換データを自動作成することを特徴とする核磁気共鳴撮像装置。
【請求項４】
　請求項１又は２に記載の核磁気共鳴撮像装置であって、
　前記被撮像体は、前記核磁気共鳴撮像装置の撮像対象であり、前記三次元MR画像は、前記撮像対象の撮像部位に設置したMRマーカーの位置情報を含む画像であり、
　前記レジストレーション手段は、前記撮像対象の撮像部位に設置したMRマーカーを指示

するポインタ付き術具の、前記三次元位置検出器で検出した検出位置を用いて、前記座標変換データを自動作成することを特徴とする核磁気共鳴撮像装置。

【請求項５】

請求項１ないし４いずれか１項に記載の核磁気共鳴撮像装置であって、

前記撮像制御部は、ユーザーからの指令を受け付けるとともに前記三次元MR画像を表示する入出力手段を備え、

前記レジストレーション手段は、前記入出力手段を介して前記三次元MR画像上の３以上のマーカー位置の一つが選択されたときに、そのマーカーに対し所定の位置に固定されたポインタ付き術具の、前記三次元位置検出器からの検出位置を読み込み、前記座標変換データを自動作成することを特徴とする核磁気共鳴撮像装置。